

# 改訂第4版序

臨床研修イラストレイテッドのシリーズが刊行されてからすでに12年が経過した。当時は臨床研修制度がまだ必修化されていなかったが、臨床技能教育の重要性を重んじ、臨床研修医、さらに医学生に役立つよう編集した。

この編集者の意図をよくご理解いただき、本シリーズは多くの方に利用された。このため、1999年に改訂第2版、臨床研修制度が必修化された2004年に改訂第3版と改訂を進め、常に時代の要請にマッチした内容に刷新してきた。

臨床研修制度が定着した今日、さらに臨床技能教育の重要性が強調される。たまたま編集者は2007年～2008年の2年間にわたって文部科学省の委託事業を受けて海外12カ国、32大学における医学教育の実情を調査した。アメリカで臨床実習教育が充実していることはよく知られているが、ヨーロッパ諸国、アジア諸国においても臨床技能教育が医学部生、臨床研修医に積極的に行われていることを目の当たりにしてきた。我が国の医学部教育でも、診療参加型のクリニカルクラークシップを導入する大学が増えてはきているものの、その実態をみると、欧米諸国のクリニカルクラークシップにはまだまだ遅れのあることが否めない。

臨床研修イラストレイテッド第3巻も、第1巻の第4版改訂に合わせ、全面的な改訂を行うこととした。第3巻は診察と検査に関する基本手技がメイン・テーマである。診察や検査そのものが大きく変わることはないが、法律や制度の変化が第3版以降みられ、それらは全面的に刷新した。また、一部は新規検査項目を追加した。最新の知識を盛り込んだ内容になっている。

臨床研修医、医学生、また看護師やコメディカルスタッフの多くの方々にご利用いただき、医療技術の向上に役立てていただきたいと願う。

本書の改訂にあたっては、羊土社久本容子編集部長、中川由香氏の多大なるご尽力をいただいた。ここに深謝する。

2011年 初春

奈良信雄